



【護衛艦隊司令官挨拶】

海将 糟井 裕之
(現 自衛艦隊司令官)



第38代護衛艦隊司令官の糟井です。平成28年12月に着任以来、皆様の温かいご支援を賜り2年を迎えることができました。横須賀水交会の皆様には、常日頃から艦艇部隊に対する各種行事等のご支援をはじめ、様々なご高配を賜り、護衛艦隊を代表し厚く御礼申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、海上自衛隊創設以来、最も厳しい状況にあると私

は認識しております。この極めて

厳しい情勢下、我々海上自衛隊は、隙のない警戒監視活動に加え、精強性・即応性を維持するための練成訓練等を整齐と実施することにより、「有事(実弾の飛び交う戦い)に至らせないよう、実弾ではなくメッセージという弾を撃ち込む戦い」を現に戦っており、この一瞬たりとも気の抜けない長く厳しい戦いに勝利し続け、力による現状変更を許さぬことが「平素においては、戦わずして勝つ」ことなのだと思っております。もちろん、「有事に至らば、我が国を守り抜く」気概と実力を養い、維持しておくべきことは言うまでもありません。

また、護衛艦隊は、我が国周辺における警戒監視、練成訓練等に加え、海賊対処行動、R I

発行 平成31年4月15日(月)
編集 横須賀水交会事務局

M P A Cやインド太平洋方面派遣訓練等をはじめとする多くの海外における実任務や共同訓練等にも参加してきました。

護衛艦隊では、これら諸活動に柔軟かつ適切に対応できるよう、装備技術の基盤強化も図られており、去る2月27日には「しらぬい」が就役し、大湊基地に配備されました。新造艦の大湊への配備は「ゆうべつ」以来35年ぶりであり、更に今後は、多様な任務への対応能力の向上と船体のコンパクト化を両立させた新艦艇の建造が計画されており、建造中若しくは計画中の艦艇を含め、将来的に護衛艦の隻数は54隻体制を目指しております。

装備面の充実が図られる中、合わせて人的基盤の強化も必要であると認識しており、艦艇乗員とご家族が航海中も直接連絡できるメールなどの通信基盤の

(次頁へ)

横須賀水交会主要行事予定

令和元年10月までの主要行事予定は、次のとおりです。なお、最新の情報は横須賀水交会ホームページ

<http://y-suikoukai.sakura.ne.jp/>

(http://y-suikoukai.sakura.ne.jp/)で御確認下さい。

1 練習艦隊入港歓迎行事

(1) 期日 5月7日(火)

(2) 場所 横須賀逸見岸壁

2 馬門山海軍墓地墓前祭

(1) 期日 5月11(土)

(2) 場所 馬門山海軍墓地

3 海軍の碑記念行事

(1) 期日 5月27日(月)

(2) 場所 ヴェルニー公園

4 令和元年度総会・講演会・懇親会

(1) 期日 6月8日(土)

(2) 場所 よこすか平安閣 6 F

5 第38回ゴルフコンペ

(1) 期日 6月10日(月)

(2) 場所 南総ヒルズC.C.

6 靖国神社月例参拝等

(1) 期日 6月20日(木)

(2) 場所 靖国神社

7 横須賀夏季防衛講座

(1) 期日 8月24日(土)

(2) 場所 計画中



護衛艦「しらぬい」 大湊入港

整備、女性隊員の更なる活躍を促進するための方策の検討、「働き方改革」を通じたメリハリある勤務環境の構築等、「隊員一人一人が誇りと自信を持ち、後顧の憂い無く、活き活きと勤務できる護衛艦隊」を目指して参ります。

最後になりますが、横須賀水交會の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、引き続きのご支援をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

【特別寄稿】

政策研究大学院大学

名誉教授 橋本 久義



何という国だ！ と思う。もちろんレーダー照射事件だ。

事件の詳細は色々なところで報道されているので、繰り返さない。

しかし思い出してみれば、ソウルオリンピックのバドミントン会場で、自国が有利になるように風を吹かせて、日本のみならず、インドネシア等々数カ国から抗議をうけたにもかかわらず、知らぬ存ぜぬとウソを突き通した国なのだ。日本であれば、疑いをかけられれば、担当の人間を嚴重に取り調べるだろう。しかし彼の国はそれをしない。今回も同じだ。日本が根拠無く言うはずもないのに、最初は苦しい言い訳、ご

まかし。そしてそれが苦しくなると論点をズラして、低空飛行をしてきたからだと逆襲してくる。瀬取りの現場を押さええられて発狂したのだろうか……。どうにもつきあいきれない。

そのような根源的な感覚の差がなぜ生ずるかを考えて、今ままであまり言われていない点をあげると、言語構造に行き当たると、

★ 韓国語には受身形がない。「○○が見ている」という表現はあるが、「私は見られている」という表現はない。

「先生に怒られた」という場合、自動的に怒られた私も悪いというニュアンスが含まれる。「あなたは、見られている」という場合、神様あるいは世間様に見られている。だから、恥ずかしい行動をとらないよう、自己規制するという意味がある。つまり受身形を多用する日本人は、すべての局面で反省・自省の気持ちを持つていると考えられる。

韓国語にも丁寧語はあるが、日本の丁寧語とはちよっとニュアンスが違う。日本語では「させていただけ

きます」……「お願いします」という気持ちがある。

韓国語は「させて差し上げます」……「あなたが何もしないので私がやってあげます」というニュアンスだ。

日本語は「助けさせていただきます」……「日本人は相手より上に立つ」と失礼になるという気持ちがある。相手より一歩下がる。韓国語は「お助けします」……「相手より上に立っている言葉だ」。

★ 日本人は「ありがとう」を頻繁に言う。友達にも、親、兄弟にも言う。

韓国の友達に聞くと、韓国では、何度もありがとうと言うと、「あなたは他人」と宣言されているように聞こえると言う。

日本人は何かしてあげても韓国人は「ありがとう」とは言わないから、「親しき中にも礼儀あり。韓国人は感謝の気持ちがないのではないのか」と思うが、韓国人は日本人が他人行儀で胸襟を開かないというラつく。

日本人は夫が妻に「ありがとう」と言うのは当たり前だが、韓国でそ

んなことを言い合っていたら、「あの夫婦は離婚するのかわ？」と思うらしい。あり得ないと言う。

また美意識も違う。韓国は美容整形大国だ。韓国の友人の話では、全く美容整形をしていない韓国人は珍しいという。日本人は美容整形している人の方が珍しいだろう(私が知っている、私の回りにいる人限定だが……)

韓国人はピカ・ピカ、満月、完全なものを美しいと思う。

日本人は萎れた花、つぼみの花も、満開の花とおなじほどの美しさを感ずる。捻れた壺、くすんだ茶碗、十三夜の月に美を感じる。

日本人は焼肉、キムチが好きだがステンレスの箸、食器を何とかしてくれと思う。韓国人はステンレスの食器が美しいと思うようだ。

日本では高級店であればあるほど、色がくすんだ、形がくねった食器が出てくる。

日本には神道が脈々と生きている。信仰深いわけでもないのに韓国はキリスト教國だが汝の顔を許せよとは教わらないらしい。

日本人は完璧な物を嫌う。韓国は

トップを狙う。韓国人は整形しても美人を目指す。ミスコンテストをやったら、みんな同じような顔立ちになるといふ。日本人には美人が少ない。美人の方が良いのだろうか、整形してまで美人になろうとは思わない。

口説きの時、日本人は良いところを見ようとす。韓国人は完璧であることを見せようとす。日本人は自分の足りなさを前もって見せようとす。韓国人は日本人をだらしなく見ると見る。

八方美人と言う言葉があるが韓国では一番良い言葉である。この言葉は日本人に言うとき怒られる。

★ 昔は、「これも文化の違いだから、お互いに尊重し有って……」と私も言っていたが、最近はとも我慢が出来なくなってきた。

國家が組織的に反日教育を行い、前大統領は世界各国を訪問して、日本の悪口を言って回る、告げ口外交の先駆者だ。そのバチがあたつて、酷い目にあつてゐるらしい。

現大統領は、条約も國際慣例も無視して、日本にケンカを売るのが仕

事と心得ているようだ。福沢諭吉先生が言ったように、「かわりあわぬこと」が一番だ。

＊橋本久義 名誉教授の紹介

・経歴

昭和21年5月福井県で生まれ、3か月で東京都新宿区へ

昭和44年東京大学工学部精密機械工学科卒

同年通商産業省入省

平成5年通産省工業技術院総括研究開発官

平成6年埼玉大学教授

平成9年政策研究大学院大学教授

・通産省時代から「現場に近いところで行政を。」をモットーに現在まで23年間で3250以上の工場を訪問。全国の中小企業の現場を訪れて、技術者・経営者の意見を聞いてきた。行政・学界には珍しい現場主義者。

・政策研究大学院大学では、発展途上國の産業発展、中小企業の

活性化をメインテーマに研究に取り組んでいる。

・研究管理・評価等の科学技術のマ

ネージメントについても通産省入省以来研究しており、研究・技術計画学会 副会長
・研究・技術計画学会人材問題分科会では、過去に防衛省関係者の講演もあり、聴講者として海自OB(水交會、横須賀水交會(會員)及び防衛産業関係者も参加している。
・TVの報道番組や新聞においてコメンテーターとして御活躍

(本紙編集 記)



政策研究大学院大学(31.3.27)



人材問題分科会(31.3.27)

【投稿(会員)】
「自衛隊と憲法9条」

佐野 恭子



海上自衛隊に友人として迎え入れられた日から30年近い。この日々、「憲法9条！」という言葉に言い返すこともできず、優れた組織でありながらその存在に法的な裏付けは得られていない。私は1日も早く法の下での堂々たる海上自衛隊になりたいと願ってきた。

今回滋賀県大津市の「募集ポスター」が非難された。アニメキャラクターなのだろうが、私が見ても女性の品性がある意味否定する作品で、大阪大学の牟田和恵教授(ジェンダー論)は「自衛隊が性的なメッセージを含んだ幼い女の子を使っているのが問題。表現の自由とは関係なく、公的な組織が国際的には

児童ポルノとみなされ得るようなものを肯定することになる」と指摘された。けれど私は「自衛官募集」の最前線の苦渋を知っている。優れた人材を得ることに知恵を絞った苦しい思いだ。



これは一重に自衛隊に法的裏付けがない立場ゆえだ。自衛隊員は被災地でわが身を顧みることなく、海中から死者を抱きかかえて引き上げ、冷たい雨のなか膝上まで水につかってゴムボートで人々を輸送し、お年寄りを抱きあげて避難させ、目に見えない放射能に挑み米軍から借り物のバージに一杯の真水を海路引きずっていき、自分たちは入らない、テントでの「お風呂

屋」を作った。その尽力は、ただ一言「憲法9条！」で沈黙して来た。

現在もう一つの憲法に抵触する事案がある。今上天皇陛下は、御自身のお言葉で広島と長崎の中間の日付となる8月8日を選んで「国民と共に喜び、国民の哀しみに添うため、その場に居て顔を見て言葉をかける存在でありたい、皇居の中で祈るだけではなく」という意味のお言葉、「けれど体力が続かないために皇太子に立場を譲りたい」というご意志を表わされた。当然非常に難しい法的手続きとなり、けれども陛下のご意志が実現された。「憲法9条」については新天皇の御即位が済んでから憲法改正に着手するとも報じられているが、自衛隊に存在意義があるとする人は実に多く総理府の24年の調査で9割に達する。身近な人が自衛隊員になりたいと言った場合「賛成」が73%(賛成32%どちらかと言うと賛成41%あり、その理由として日本の平和と独立を守るといふ誇り

のある仕事だから、を挙げたものが60.7%だ。これだけの支持を得ても「憲法改正」はなじみのない法的手続き故ひるんでいるのかな。もし自衛隊が憲法違反なら日本は自己の財産と身体防衛が担保されない国家となる。



私は佐藤優のファンだ。彼が2月に徳間書店から出した佐藤優「情報解説」の私塾P.64で今ニュースをにぎわしている横畠裕介内閣法制局長官が2016年3月18日の参議院予算委員会「憲法上、あらゆる種類の核兵器の使用がおよそ禁止されているというふうには考えていない」と答弁し過去、質問主意書に対する答弁書で、政府は核兵器の保有は憲法上否定されていないとの答弁を繰り返している。例えば、06年11月6日に鈴木宗男衆議院議員が提出し

た質問主意書で「憲法の政府解釈では必要最小限の軍備の中には核も入る」との言説は、政府の見解と合致するか」と質したのに対して、同年同月15日、安倍晋三首相は、「純法理的な問題として申し上げれば、我が国が自衛のための必要最小限度の実力を保持することは憲法第九条によっても禁止されているわけではなく、たとえ核兵器であっても、仮にそのような限度にとどまるものがあるとするれば、それを保有することは必ずしも憲法の禁止するところではないと従来から解してきている。」と答弁書で答えている。軍事・民生ともに「核」はあまりに難しいテーマで到底、私の考え得る範囲ではない。ただ気候変動はいま、人類存亡の際にきていると思う。原発なしで気候変動枠組み条約COPにおける公約を日本は守り切れるだろうか。

海外に目を向けると英国には「憲法」がなく、裁判結果の precedentsに準ずる(軟性憲法)。同国は現在、日々EU離脱の激しい国

会論争がNHK・BSワールドニュースの同時通訳で聞ける。けれど夏休み・クリスマス休暇は各3週間ほど取っている。現地生産している日産もホンダもじりじりしただろう。時に口汚いとさえ思える激しい論戦は「自分たちこそが民主主義を作ってきたのだ」という誇りあるダイベートだ。一方、日本には日本文化に根付いた方法がある。司馬遼太郎の「竜馬がゆく」最終盤で竜馬が一人、幕府大目付永井主水正尚志に大政奉還を勧めに行く。「歴史が変わったのだ。この前古未曾有の時代に鎌倉武士や戦国時代の武士道でものを考えられてはたまらぬ。日本にとって最も有害なのは忠義という事であり、もつとも大切なのは愛国という事です」永井は吐息をつく。(中略)すでに議論は煮え詰まった。あとは結論か、最後の言葉があるのみである。竜馬は議論の勝ち負けを意に介していないかたちで、むしろ議論に勝つという事は相手から名誉を奪い、恨みを残し、実際面

で逆効果になることがしばしばある事を、この現実主義者は知っている。内心(あとの三分まで勝とうとすれば、相手は開き直るだろう)と思えば、竜馬は矛を収めよう・と言う美しい場面だ。

憲法9条については自分たち日本人が戦争加害者だという意識があり、憲法前文とともに当時は本気で発起したと思う。けれど今、前文を読むと私には違和感がある。確かにマッカーサーの「日本人は12歳の少年のようだ」を感じる。彼は貶めるつもりでそう言ったのではないかもしれない。というのは今、大量の難民によって引き起こされたヨーロッパと米国の激しいポピュリズム、親や宗教人による弱者虐待・NHKが把握しきれない規模と速さで世界は人の生きにくい方向に変化している。インテリジェンスあり、サイバー攻撃あり、コンピューターが介在する金融資産の激しい価格変動、G20で政府の与信がないため「暗号資産」と呼ばれるビットコイン、そして気候変動・

憲法前文の謳った世は竜馬のいう「変わった」。さて、我らの水交會に期待は大きい。米国の引退軍人がベトナム戦争の帰還兵のために作ったものがある。「精神科医のためのメイトル原器」ともいうべき「精神障害の診断と統計マニュアル」、これは世界中で心理学・精神科を学ぶ人たちのものさしだ。米国の、精神を病む帰還兵は極めて安価に治療を受けられるようになった。海自OBは将来、経済的に困難になると予想される。コマツが1人を残してすべての「天下り」(と呼ばれた)陸自からの顧問を解雇し、安倍内閣が望む年率2%のインフレが実現すると年金は10年で2割方減る。私自身は金融取引に挑んだ結果、損金だけが残った。けれどパンドラの箱に「希望」が残ったように人それぞれの働き方がある。70代の友人は東大工学部卒、三菱系メーカーを退職後、ご子息がビジネスとして立ち上げた知的障害者ホーム(入居者は男子4名20-40代、障害は中程度、2

棟)で週1回の夜勤と日勤(奥様は週2-3回の日勤)をして1年が経った。彼はバイオリンを趣味としハイドンを演奏する音楽団体を率いる。「障碍を持つ人の子育ては大変だと実感しました。健常者でも生きていくのが大変な世の中、足りないところを補完しあい「お互い様」を実行できればと思います。役に立てるといふ事は有難く、気力・体力の許す限りは」・人の役に立てる、といふ事の意味を私も考える。

「隊員の皆様に音楽を届ける夢」

木間 恵美子



私は、昭和55年8月、第7期婦人練習員として海上自衛隊に入隊し、平成25年5月に33年の勤務を全うし定年退職いたしました。

海上自衛隊に入隊したきっかけは、人に興味を持ち、人の心理について学んでいた短大在学中に、海上自衛隊潜水医学実験隊への研修があり、水中環境での人体への影響を研究している現場を見学したことで、海上自衛官という人々に強い興味と魅力を感じ、海上自衛官となりました。入隊後、通信員としての勤務は、厳しく、人情は温かい環境の中で、育児の期間も退職することなく、勤めあげることができました。近年、海上自衛隊の任務が厳しくなる一方で、隊員(人)の育成に着目した活動がより活発になり、先任伍長として後輩たちの話を聴く立場となった定年前には、隊員の気持ちに寄り添う存在になったという、自分自身の目標によろしくたり着いたという感覚を持ちながら、自衛官人生を終えることができました。

古を始めました。バイオリンを弾く技術だけでなく、夏季合宿などを通じ、団体生活でのルールやチームワークの大切さなどを教えてくださったバイオリンの先生は、私が自衛官になって間もなく、「自衛隊で慰問演奏ができないものか」とおっしゃられました。入隊して間もなかった私には、とても現実味の無い話でそれきりになってしまいました。話でそれきりになってしまいましたが、その恩師が亡くなられたことはなく、退職した今、今度は自衛官であった私自身ができることとして、国民にあまり知られることのない過酷な勤務の後輩の方々に、「ほっとするひと時」を音楽で届けたいと思うようになりました。今や音楽は日常的に溢れ、スマホにダウンロードして簡単に聞くことができますが、生の弦楽の音を身近に感じていただける非日常と思われるひと時を手軽に過ごしたいと思っています。

コンサートや、花の時期に桜コンサート、さつきコンサート、家族も招待したアットホームでのクリスマスコンサートなど。厳格さを求められる職場だからこそ、癒しの場を提供していきたいというのが、長年お世話になった海上自衛隊への恩返しともいえる私の夢(目標)となっています。

現役の頃、退職までまだ十年ほどあった頃から、手嶋弦楽合奏団として、先輩の方々の退官パーティー等で少しずつ演奏をさせていただき、これまでに四十回ほどになりました。その内訳は、退官祝いの他、同期会、OB会、海自先任伍長会報懇親会、WPNSシニアセーラーズシンポジウム懇親会、幹部学校さつきコンサート、第1術科学校、呉システム通信隊、護衛艦「ひゅうが」でのミニコンサートなど、生の弦楽合奏を聴いていただいています。

共に活動しているバイオリンの手嶋佳津子さんは、同じジュ

ニアオーケストラに参加していた幼なじみで、チェロの岩楯徳子さんは、手嶋さんと音楽大学同級生、お二人はともにクラシック音楽の普及と教育を軸に活動されています。手嶋弦楽合奏団の結成は2004年、幼稚園・小学校でのバイオリン・ピオラ・チェロに触れることのできる音楽会や特別な記念日のための音楽パーティーなどを企画・実施してその公演回数は400回を越えました。

私は、これからの人生を、手嶋弦楽合奏団の一員として、音楽を必要としている方々に届けていながら、わが国を守ってくれている自衛官の方々にも感謝の気持ちを込めて演奏していく事ができればと思っております。

お問い合わせ、要望は、メールでお願いいたします。

連絡先：木間恵美子

konoemi510@gmail.com



「掃海隊群 三重県四日市市

艦艇広報研究会」

清水 基晴



掃海隊群 伊勢湾掃海訓練に伴う艦艇広報行事で、平成31年2月10日(日)、三重県四日市市港において、自衛隊三重地方協力本部主催の艦艇広報にあわせて、横須賀水交会会員及び協力者と見学を実施しました。水交会会員6名協力者等10名の計16名の参加者で「ぶんど」を中心とした見学で、募集対象者2名には特に海上自衛隊をよく理解して頂けたものと思います。また、案内をしていただいた、吉田掃海支援隊司令と協力者として参加した愛知県江南市の幅市議会議員が防衛大学校1学年時同じ中隊であったことが判明し何十年ぶりの再会ということもあり大盛況で終了いたしました。

【参加行事】

1 ソロモン諸島における

戦没者の遺骨引渡式に参加

平成30年10月10日(水)14時30分から横須賀逸見岸壁において、海上自衛隊は厚生労働省の実施する戦没者遺骨引渡式を支援しました。

この度の御遺骨は、ビスマーク・ソロモン諸島で平成30年9月19日から29日までの間、遺骨収集団が収集した御遺骨及びこれまで現地調査団が収集し、在ソロモン日本大使館に仮安置していた御遺骨です。護衛艦「さざなみ」(艦長石川 将司2等海佐)は、9月25日から27日の間、ソロモン諸島ホニアラ港に寄港し、先の大戦で祖国のため散華された英霊の御遺骨を艦内に安置し、護衛艦とともに、日本にお運びいたしました。晴れ渡る秋空の中、遺骨引渡式は厳かに開始しました。さざなみ乗組員に捧持された88柱の御遺骨は、横須賀音楽隊が奏でる「海ゆかば」に流れる中、厚生労働省職員に引き渡され、式



場に仮安置されました。
88柱の御遺骨に対し、黙とうが捧げられ、関係省庁や遺族会、海上自衛隊の関係者が次々と献花をしました。横須賀水交會からも、加藤会長をはじめ約30名が引渡式に参加し、菊の花を献花しご冥福をお祈りしました。
(井上 力 幹事 記)

2 遠洋練習航海部隊帰国行事に参加

10月30日(金)、抜けるような秋空の下、海上自衛隊横須賀地方総監部逸見岸壁において平成30年度遠洋練習航海部隊(練習艦隊司令官 泉 博之海将補以下実習幹部約190名(うちタイ海軍少尉1名、女性自衛官約20名)を含む約580名)の帰国行事が行われました。(執行者 横須賀地方総監 渡邊剛次郎海将)

逸見岸壁では、練習艦「かしま」(艦長 金子純一 一等海佐)、「まきなみ」(艦長 大日方孝行 2等海佐)の帰国を待ちわびていた隊員家族らが多数出迎えました。横須賀水交會からも多数の会員が参列し、遠洋練習航海の成功を祝うとともに乗員の激励を行いました。



帰国行事では、村川海上幕僚長をはじめとする各級指揮官の他、国会議員、横須賀市長等の来賓、各支援団体関係者ら多数が見守る中、練習艦隊司令官が「遠洋練習航海を終え、本日帰国いたしました。」と力強く帰国報告を行いました。

鈴木貴子防衛大臣政務官からは、「海上自衛隊の中核を担う初級幹部として、自らの職責に常に誇りと自覚を持ち、国民からの信頼に応えられるよう、我が国の防衛という崇高な任務に全身全霊で挑んで頂きたいと思えます。」との訓示があり、海上幕僚長は、「海上自衛隊の全ての活動の基本が海上勤務であること

を肝に銘じ、いかなる配置にあらうとも、海上勤務を基本とした物の見方、考え方を持ち続けたい。」と訓示しました。来賓代表として登壇した佐藤正久外務副大臣からは、「皆さんが、本航海で身に付けられたシーマンシップと国際感覚を持って、諸先輩に続いて、我が国と国際社会の平和と繁栄のために

邁進されることを期待しております。」と祝辞がありました。今次遠洋練習航海部隊は、5月21日に横須賀を出港。以後、西回りで地球を一周し、10か国、12寄港地を訪問しました。寄港したインドネシアとは国交樹立60周年、フィンランドとは100周年、スペイン、スウェーデンとは150周年という外交上の節目の年でもあり、親善外交使節としても重要な役割を果たしました。

実習幹部は長期間の外洋航海という慣れない環境の中で訓練漬けの日々を送り、身心を練磨し、シーマンシップを養い、初級幹部として必要な技能を習得することができたものと思えます。

式典終了後、実習幹部は艦上で司令官・各艦艦長・乗員と挨拶を交わした後、岸壁に整列して帽振れを行い、艦を後にしました。初任幹部諸官の今後の活躍を祈念します。

(石井 順 幹事 記)



3 30年度横須賀水交會
部隊研修

11月29日(木) 秋日和の下、平成30年度横須賀水交會部隊研修が行われました。研修部隊は、平成30年3月に就役し、横須賀初入港の際は横須賀水交會も出迎えをした最新の潜水艦救難艦「ちよだ」(艦長 布田 英二 佐)であり、参加者は平日にも関わらず109名でした。

「ちよだ」は、第2潜水艦群に所属し、遭難(事故)潜水艦から乗員を救出することを主任務とし、大規模災害時には、海上から輸送、医療、被害者収容等、様々な活動に対応可能な潜水艦救難艦です。平成30年3月20日就役。基準排水量5,600トン、全長128メートル、機関はディーゼルエンジン2基19,500馬力です。研修は、2組各2個班に分かれ、概要説明、艦内見学が行われました。艦内の科員食堂において、概要説明がありました。



潜水艦救難艦の特徴は、次の2つでした。①攻撃武器を持たない自衛艦②他国の事故にも対応可能。

艦内見学は、艦橋から始まりました。各性能の説明があり、スラスト装置が四基装備されており、GPSを利用した自動艦位保持装置(DPS)によって常に洋上の一定位置に留まる事ができるようになっています。また、燃料タンクを大型化し、高速域での航続距離延伸、救難海域への進出時間の短縮を図っています。

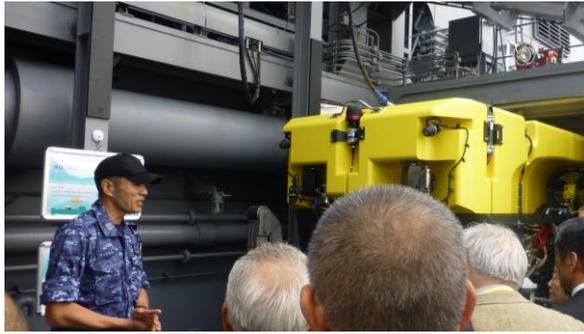
艦橋の後は、潜水艦救難艦と

して特徴的な場所の見学となりました。艦橋後方にある救難指揮所(RIC)は、情報収集の強化が成されています。深海救難装置(DSRV)は、新型であり、1回の潜水における救難可能人数が「ちはや」搭載艇の12名から16名に増加し、バッテリーが、リチウム・イオン電池に変更され、充電時間の短縮化が図られています。



深海での作業のため、潜水員を深海まで輸送する深海潜水装置(DDS)及び遠隔操作無人探査装置(ROV)も新型であり、運動性・搜索能力の向上が図られています。ROVは見学しやすいようにと半分近くまで引き出されていました。医療施

設である処置室等、を含めて、乗員の方の案内及び大変丁寧な説明で有意義な見学をさせて頂きました。



研修終了後、船越基地分遣隊委託食堂において、御世話になった高島辰彦潜水艦隊司令官、潜水艦隊司令部各幕僚、「ちよだ」艦長、先任伍長他合計11名の同席を得て、和気藹々とした雰囲気の中で懇親会が開催されました。加藤 保横須賀水交會会長の挨拶、高島潜水艦隊司令官から御挨拶を頂き、「ちよだ」艦長の乾杯の発声で幕開けとなりました。懇談では「ちよだ」の装

備や運用について、会話が、その運用について会話が盛り上がっていました。服部副会長の締めめで、横須賀水交會部隊研修は、参加会員の満足を得て十分に目的を果たし成功裏に幕を閉じました。

今回の部隊研修は業務多忙に関わらず潜水艦隊潜水艦救難艦「ちよだ」の御配慮により、実現したものであり、ご尽力頂いた関係各位に改めて深く感謝します。(石井 順 幹事 記)



4 第37回水交會主催

ゴルフコンペ

11月12日(月)、第37回横須賀水交會主催ゴルフコンペを千葉房総半島の南総ヒルズカントリークラブにて開催しました。

当日は、降雨の予報で霧雨の中「折角のコンペなのに・・・」の嘆きを小耳にゴルフ場に向かいました。

ところが写真のようにクラブハウス前の開会式には曇りとなり、後半には晴れに変わり、風もなく、絶好のプレー日和となりました。



途中冬季に向け木の実を取る数匹のおさるさんの来訪を受けたほか、快適で楽しいコンペを実施することができました。参加者は加藤保会長以下39名でした。

今回の成績は、熊谷博之氏が、グロス76、ハンデキャップ6.0、ネット70.0で優勝、準優勝には岡本義弘氏(92、21.6、70.4)が、そして3位は熊谷昭吾氏(78、7.2、70.8)がそれぞれ受賞という結果でした。



優勝した熊谷氏



準優勝した岡本氏

優勝された熊谷さんからは、「ベストスコアで優勝でき驚いています。素晴らしい同伴者のおかげで楽しいゴルフができた。

好成績に繋がりました。」との優勝の弁をいただきました。また、ベストグロス賞には、レギュラーの部は大津雅紀氏がグロス79で、ベストグロス賞ウーマンには、斉藤浩子氏がグロス111で、シニアの部では熊谷博之氏がグロス76で受賞されました。

なお、今回も飛び賞を含めて賞品をゴルフ場に依頼し、地元千葉の新米をはじめ、ご当地グルメの賞品で大いに盛り上がりました。

水交會主催コンペは会員の親睦を目的としたゴルフ大会ですが、水交會会員のみならず、陸海空自衛隊のOBや友人・知人・家族まで幅を広げて参加者を募り、水交會の活動に理解を深めていただければ幸いです。またこの中から水交會に入会していただければこのコンペの目的を十分に果たすことができますものと考えています。たくさんの方に声をかけて参加者を更に増やしていただくよう今後ともご協力の程よろしく願います。

(吉岡 俊一 幹事 記)

5 平成31年横須賀防衛団体

賀詞交歓会

平成31年1月12日(土)午後、横須賀地区の防衛関係者にとつては新年の幕開け行事ともなる「平成31年横須賀防衛団体賀詞交歓会」が、横須賀商工会議所多目的大ホールにおいて開催されました。

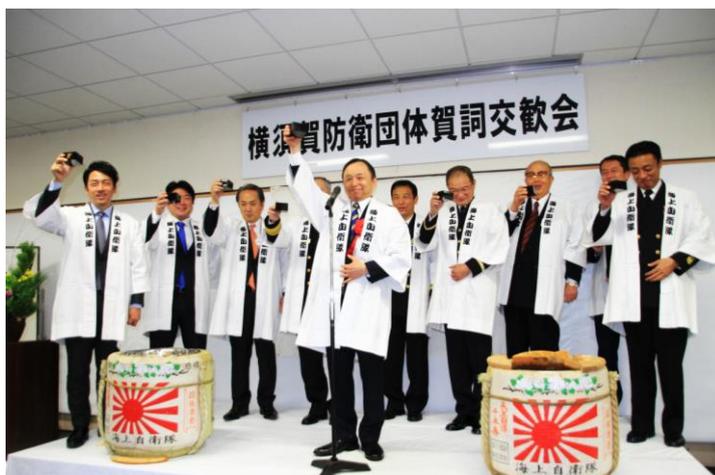
本会は、防衛関連の9団体(※)が共催し、横須賀地区に在籍する陸・海・空自衛隊の部隊指揮官・先任伍長、横須賀市長等を招いて新春の賀詞を交歓するとともに、自衛隊員を激励し、併せて、各団体、会員相互の親睦を図ることを目的に毎年実施しているものです。当日は、小雨混じりの生憎の天気でしたが、300名を超える関係者が参加しました。

国歌斉唱に続き、共催団体を代表して小山満之助横須賀防衛協会会長から、「我が国を取り巻く安全保障環境は極めて厳しい状況にあり、我々防衛各団体は、防衛省、自衛隊、防衛大学校を陰でしっかりと支えてまい

りたい。」との決意表明がありました。来賓代表の上地克明横須賀市長からは、「今年は横須賀で観艦式があります。できる限りの御支援をさせて頂きます。自衛隊の皆さんが全国から来られた際には是非、横須賀の街の御案内をして頂きたい。」、渡邊剛次郎横須賀地方総監からは

「現在の国際情勢を揺れ動くフロアの上でダンスを踊るようなものであると言われており、自衛隊が置かれた立場も同じです。上手に踊るためには3つの要素が必要です。1つ目にはしっかりとした体幹、すなわち自衛隊が何のために存在し、何のために活動するかというぶれない価値観と、フロアがどう動くかを見極める眼、そしてパートナーとの連携、すなわち同じ認識を持った同盟国との緊密な連携が必要である。」という祝辞を頂きました。

来賓の、小泉進次郎衆議院議員、山本ともひろ参議院議員及び三浦のぶひろ参議院議員から力強いご挨拶を頂いた他、神奈



川県議会議員・横須賀市議会議員・鎌倉市議会議員、防衛省・自衛隊の代表の方々を紹介がありました。

恒例の鏡開きでは、2つの四斗樽が参加者全員の「ヨイシヨ！」の掛け声に合せ見事に開かれ、最高の盛り上がりの時を迎えました。

その後、國分良成防衛大学校長のご発声により乾杯が行われ、以降、懇談の時間となりました。

会場内のあちらこちらで、陸・海・空自衛官、来賓、自衛隊OB、各団体会員等が和気藹々と懇談する姿が見受けられ、当初の目的である親睦を十分に図ることができました。

楽しい時はあつという間に過ぎ、最後に、納富中防衛大学校幹事の万歳三唱により、平成最後の賀詞交歓会はお開きとなりました。

横須賀は、3自衛隊統合を代表する街であり、日米同盟及び安全保障協力の拠点ともなっており、これを支える横須賀防衛団体の存在と責任の重さに思いを新たに、新しい時代の幕開けを認識した一日でした。

(石井 順 幹事 記)

※ 横須賀防衛協会、隊友会横須賀支部、横須賀水交会、横須賀曹友会、三笠保存会、自衛隊家族会三浦半島地区会、三浦半島募集相談員会、横須賀海交会及び桜遊会

6 海上自衛隊横須賀教育隊

修業式において、

横須賀水交会から激励賞を授与

横須賀水交会では、平成30年12月19日(水)第129期初任海曹課程、平成31年2月15日(金)第12期一般海曹候補生課程、第371期練習員課程、第62期練習員(女性)課程及び平成31年3月25日(月)第130期初任海曹課程の修業式において、成績優秀者5名(男性3名、女性2名)に対し、表彰状及び記念品を贈呈しました。

横須賀教育隊の初任海曹課程に対する表彰は、従前から横須賀防衛協会会長賞が授与されてきました。平成26年度からは、横須賀水交会からの激励賞も授与されることとなり、受賞者については、防衛協会会長賞との重複を避けること及び横須賀教育隊の初任海曹課程には全国から選抜された女性も入校していることから、横須賀地方総監部管理部と調整した結果、防衛協会会長賞が男性(女性)の場合は、水交激励賞は女性(男性)へ授与することになりました。ところが平成28年度から海曹予定者課程が新た

に開始され、これまでの初任海曹課程としばらく混在することから、横須賀教育隊との調整により、防衛協会会長賞を海曹予定者課程へ、水交激励賞を初任海曹課程へ贈呈することになりました。

第129期及び130期初任海曹課程ともに選考された男性1名に加藤会長から賞状と記念品が贈呈されました。

また、第371期練習員課程及び第62期練習員(女性)課程は、夏の期間に全国で採用された男性34名、女性26名が、平成30年10月3日自衛官候補生として入隊、同日付で第12期一般海曹候補生課程(女性のみ)10名も入隊、横須賀教育隊での厳しい訓練等を無事乗り越え、2月15日晴れの修業式となりました。当日は、加藤会長から賞状と記念品が贈呈されました。

第129期初任海曹課程

3等海曹 肱 黒 新 (ひじくろ あらた)

第12期一般海曹候補生課程

2等海士 福 岡 愛 香 (ふくおか あいか)

第371期練習員課程

2等海士 鬼 丸 朋 大 (おにまる ともひろ)

第62期練習員(女性)課程

2等海士 磯 村 心 (いそむら こころ)

第130期初任海曹課程

3等海曹 増 田 順 之 (ますだ よしゆき)

今回、表彰された皆様が、部隊において更なる研鑽を積まれ、海の防人として大きく成長されることを横須賀水交会一同祈念しております。(清水利広 幹事 記)



【トピックス】

1 横須賀水交會

平成30年度第2回幹事会

30年12月12日(水)、すっかり冬めいた日、横須賀福祉会館において、幹事会が開催されました。議題等は①実施行事の結果②実施予定の行事③前幹事会における提案事項の検討結果について④隊員留守家族支援対策について各担当常務幹事から報告があり、討議が行われました。特に合同賀詞交歓会については、約1か月前ということで、細部にわたる議論が行われました。

幹事会終了後、ホテルハーバーにて忘年会が開催されました。忘年会では、1年間忙しく活動して頂いた役員の皆様に、少しでも優雅な気持ちになって頂くと考え、開会までの時間に、木間恵美子会員がメンバーの一人である手嶋佳津子弦楽合奏団に軽音楽の生演奏をお願いしました。

来賓の土地横須賀市長からは「今年は、自然災害の多い年で

あり、様々な場面で自衛隊の皆様が活躍されたシーンを見て心打たれ、敬意を表します。仲間である呉市が7月の集中豪雨で被害を受けた際、支援物資を送って頂きました。観艦式があります。できる限りの御支援をさせて頂きます。」



横総監からは、「バイオリンやチェロが弾けたら、かっこよいのですが、ホラしか吹けませんので」という冗談から始まり、「余命半年といわれた場合に、自衛隊ではなく他の仕事に就くか」という質問を隊員に投げかけたところ、ほとんどの隊員の回答が「今の仕事を続けます」であったという事例から、誇りをもって、任務を遂行している

隊員のお話を頂きました。

鳥居会員からは、大島会員と行かれた遠洋練習航海部隊のバルセロナ寄港の際の入港歓迎及び出港見送りのお話を頂きました。

また、今回の演奏について、予想以上の反響がありました。音楽が好きな会員、また興味を持つている会員もいて、演奏終了後忘年会に参加して頂いた手嶋佳津子弦楽合奏団の皆さんに色々質問をし、交流を深めていました。(石井 順 幹事 記)



2 靖国神社等月例参拝

2月21日(木)、春を思わせる穏やかな気候の中、恒例の靖国神社参拝が行われました。水交會の月例参拝は、旧海軍及び海自OBが主体に行われています。

今回は、旧海軍出身者は兵学校74期の高田 忠氏以下、甲飛会合せて計7名。海自OBは、幹候8期の吉川圭佑氏以下クラス代表26名、その他有志等4名、電子会1名、水交會本部9名でした。更に横須賀からの参加者16名を加え、63名の大人数の参拝となりました。

今回で水交會月例参拝は、421回となるそうです。

今回の横須賀水交會参加者はクラス参加も兼ねると21名と盛況で、今後とも積極的な参加を呼びかけていきたいと思えます。山口建史宮司からは、「2月は神社にとって大切な月であり、11日は建国記念祭、靖国神社では17日は、祈年祭という秋の新嘗祭に繋がる大祭、24日には、今上陛下在位30年記念式典に合わ

せた大祭があること。靖国神社は、桜で有名だが、この時期、梅が清楚な香りを漂わせている。」とのご挨拶及びお話しを頂きました。



その後、兵学校74期高田氏を総代として、参拝が行われました。

靖国神社参拝終了後、それぞれ徒歩で千鳥ヶ淵戦没者墓苑まで移動しました。気候の良い日は、この移動も気持ちが良いものです。千鳥ヶ淵では、(公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会の方から千鳥ヶ淵戦没者墓苑における年間行事等について説明を受けました。



今年、千鳥ヶ淵戦没者墓苑創建60周年だそうです。年間行事は次のとおりです。

- ① 国が行う行事
 - ・遺骨引渡式(複数回)
 - ・拝礼式(年1回)
 - ② 奉仕会が主催する行事
 - ・秋季慰霊祭
 - ③ 各種慰霊団体等が行う慰霊行事
 - ④ 自衛隊関連
 - ・偕行社、水交会の月例参拝
 - ・遠洋練習航海部隊の参拝
 - ・秋季慰霊祭における拝礼
 - ・防衛大学校学生の参拝
- 参拝終了後、マイクロバス3台の支援を得て、防衛省慰霊碑に向かいました。到着後、海上幕僚監部人事教育部厚生課長(金山 哲治 1等海佐)、わだつみ

の会会長の出迎えを受け、慰霊碑前に整列をした後、人事教育部長並びにわだつみ会会長の挨拶を頂き、海自OBの吉川氏が代表して献花し、慰霊参拝を行いました。



その後、解散となりましたが、横須賀水交会の有志は、クラブ水交での直会に参加しました。本部からの参加もあり21名の方が参加してくださいました。中尾顧問の挨拶から始まり、懇談の途中では、皆さんの近況報告を聞きながら鍋を囲みました。松崎顧問から締めめの挨拶を頂きました。

次回は6月ですので、月例参拝の参加及び初回参加者へのお誘い等、皆様のご理解とご協力を今後ともよろしく願っています。(大野 慶二 幹事 記)

3 平成30年度第3回幹事会

3月13日(水)、横須賀市総合福祉会館において、平成30年度第3回幹事会を開催しました。会長、顧問、幹事等役員約40名が参加しました。

今回は、幹事会に先立ち「資産管理と運用のはなし」という演題で、ジブラルタ生命保険(株)根本将英氏を講師に招き、講演会を実施しました。内容は、

- ①リタイヤメント後の夢と危懼
- ②資金三分法③金融商品のチェックポイント④投資信託の注意点の4項目でした。
- ①リタイヤメントの危懼(次の可能性がある)
 - 入院、手術○介護○相続(争族)○金融資産が枯渇
- ②資金三分法(長期資金(10年)20年以上)
- 金融資産の枯渇○介護
- インフレリスク
- ③金融商品のチェックポイント
 - 利率(高い)○金利(固定)
 - 配当(無し)○課税(所得)
 - 手数料(無し)

④ 投資信託

(買ってはいけない投資信託)

○テーマ型 ○配当型

○一時払型

講話終了後には非常に活発な質疑応答及び情報交換が行われ、講演会参加者の本件に対する関心の高さが感じられました。



その後、引き続き実施された幹事会では、まず今年度下半期の実施成果として、1月12日(土)合同賀詞交歓会、2月21日(木)靖国神社定例参拝に関して、担当幹事から、成果・所見について説明がありました。

次に、実施予定の馬門山海軍墓地墓前祭(5月11日)、海軍の碑記念行事(5月27日)、第38回

ゴルフコンペ(6月10日)等に関して、担当幹事から説明があり、未決定事項については、討議が行われました。年号が変わった後の6月8日(土)に開催される総会についても、基本計画等の資料に基づき討議が行われました。場所は例年通り、「よこすか平安閣」です。



総監部支援事業については、永田幹事長から説明があり、隊員留守家族支援活動については、体制の充実に向けての横須賀水交會對策について担当幹事から報告されました。

ファミリースポーツ会員拡充策については、昨年度からファミリースポーツ会員の減少に伴う支援要員不足を解消するため

に、担当幹事から新たな提案が提出されました。会員募集環境の強化のために新たなプロジェクトを立ち上げ、総監部を起点に地区別に班編成を実施し広報活動に従事する事となりました。細部については、6月総会で承認を得たところで横須賀水交會HP等にてお知らせするのとこのとですので、皆様のご協力をお願いいたします。

いずれの案件に関しても参会者から今後の活動も視野に活発かつ熱を帯びた意見が交換されました。

会議終了後、「中華飯店」において懇親会が行われました。其々のテーブル毎に様々な話題で盛り上がりました。

(石井 順 幹事 記)



【お知らせ】

1 幹事会終了後の懇親会に

参加してみませんか!

横須賀水交會では9月、12月及び3月に幹事会を開催しており、終了後には自衛官等をお招きして懇親会(夕食会形式)を実施しております。平成28年度からはこの懇親会に役員以外の会員の皆様にもご参加いただきたいと考えております。これまでに会員同士の交流機会が総会や賀詞交歓会などに限られていたことを解消するための試みですので、ふるってご参加ください。

開催日時、会場、費用等につきましては、開催日の概ね1か月前に横須賀水交會ホームページ(当面の活動予定欄)に掲載いたしますので、参加を希望される会員はお手数ですがお葉書にて事務局までお申し込みください。

なお準備の都合もありますので、申込み及び変更につきましては開催日の10日前までに完了して頂くようお願いいたします。

葉書宛先…〒237-0046
横須賀市西逸見町1丁目無番地
横須賀地方総監部付

横須賀水交會事務局宛
記載事項…参加される方の氏名、
会員番号、連絡先

2 横須賀水交會 全会員用

2 メーリングストの新設について

さてこの度、かねてよりご要望の多かった、「メールによる会員の皆様への行事等のご案内」を開始することとなりました。つきましては、メーリングリストへの登録を希望される方は次の要領でご登録をお願いいたします。

① 登録用アドレス

memberlist_regist@y-suikouka
i.sakura.ne.jp

② 登録内容

(例)

(1) 氏名

海尾護

(2) 会員番号

0174183

(3) メールアドレス

uniomamor@gmail.com

※登録アドレスは、お一人につき1アドレスとさせていただきます。

何かご不明な点がございましたら、登録アドレスへご一報ください。

以上、よろしく申し上げます。

叙勲受章者(秋の叙勲)

次の会員の方が叙勲を受けられました。(敬称略)



瑞宝小綬章 神谷 光久

吉村 研二

北村 肇

山村 洋行

加藤 正治

(本多 一雄 事務局長 記)

訃報

10月本紙発行以降、次の会員が逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。(敬称略)

木下 憲司 平成31年1月13日

勝部 保男 平成31年2月11日

穂坂 英久 平成31年2月21日

(本多 一雄 事務局長 記)



新(編)入会員

(30年10月〜31年2月)

・次の方々横須賀水交會に新たに入会されました。(敬称略)

横内 博次(有志) 都原 聖(部

内26) 西村 剛(有志) 岩淵 有

希(有志) 幸田 明彦(有志)

福田 和也(有志) 山崎 崇(有

志) 木間 恵美子(横教w7)

杉浦 萌(有志) 柴田 俊司(幹

候36) 下田 成浩(有志) 真鍋

浩司(幹候35) 大井 昌靖(幹

候36) 石本 隆一郎(幹予30)

安野 雅義(有志) 加藤 敏明

(有志) 小林 徹(有志) 蓮本

一郎(幹候35) 小林 礼治(有

志) 篠村 靖彦(幹候36) 柘植

培美(有志)

・法人賛助…(株)システナ

・次の方が横須賀水交會に編入しました。

山本 克也(幹候33)

大橋 俊則(有志)

(桂 眞彦 幹事 記)

【編集後記】

4月1日(月)に新しい元号「令和」が発表されました。5

月1日から、新しい時代となります。新たな気持ちで何かに挑戦をと考えている方もいるのではないのでしょうか。これからは、気候も良くなり、第1面の行事予定にありますように、横須賀水交會では、多くの行事が計画されています。是非、積極的な行事への参加及び紙面充実のための投稿をよろしくお願いいたします。

来年は、東京オリンピックですがその前に今年、御存じのとおり、4年に1度のラグビーワールドカップが日本で開催されます。決勝トーナメントは、9月20日(金)〜11月2日(土)、開催都市は東京等日本全国12都市、参加チームは20チームです。みんなで応援しましょう。(編集担当 石井)

